

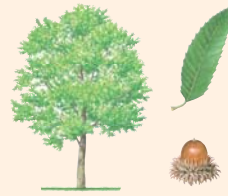
はやし きぎ 林をつくる木々たち

この辺りの雑木林の高木は、コナラ・アベマキの落葉樹にツブラジイなどの常緑樹が混じる植生です。地面をよく見ると高木や低木に見られる樹の「芽生え」が草本層にも見られるので、同じ種類を見つけてみましょう。



コナラ ブナ科

雑木林の代表的な落葉樹です。樹液には夏にカブトムシやクワガタが集まる他、秋になる細長いドングリは森の動物の貴重な食糧となります。



アベマキ ブナ科

クヌギに似ますが、葉の裏が灰色なので見分けられます。樹皮がコルク質で押すと若干へこみます。大きな丸いドングリがなり、ドングリ遊びに最適です。



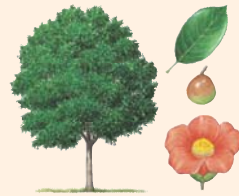
ツブラジイ ブナ科

スタジイに似ていますが葉が小さくやや薄いです。ドングリは小さく丸いです。炒って殻をむいて食べられます。



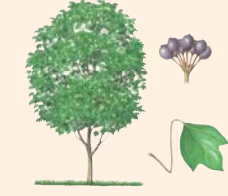
ヒサカキ ツバキ科

サカキより小さい葉で、姫サカキが転じて「ヒサカキ」になったとされます。サカキの代用として神棚やお墓に供えたりします。



ヤブツバキ ツバキ科

日本を代表する花木です。冬から春に咲く花には虫だけでなくメジロなどの鳥が蜜を吸いにきます。種子からは植物油がとれます。



カクレミノ ウコギ科

三〜五つに裂ける葉の形を、つけると姿が見えなくなる想像上の道具「隠れ蓑」に例えてこの名がありますが、葉の変異が大きく、裂けない葉もたくさんあります。



ヤブニッケイ クスノキ科

ニッケイ（シナモン）と同じ仲間、この木の葉も香りがあります。光沢のある葉には3本の主脈が目立ちます。



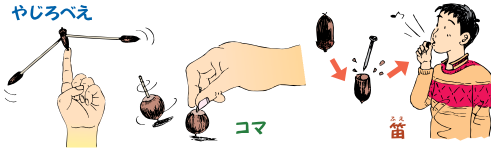
モウソウチク

タケ科（広義のイネ科）

モウソウチクは古くに中国から渡来したタケです。かつてはタケノコや竹細工の材料をとる竹林として管理されてきました。しかし昨今管理する人がおらず、竹林が周囲の林に侵入したため、鬱蒼として生き物がいなくなってしまう場所も少なくありません。

ドングリ遊びいろいろ

コナラやアベマキなど、秋には多くのドングリが拾えます。ドングリ遊びで遊んでみましょう！



やじるべえ

コマ

笹